大閣ひょうたん祭り

箱根宮ノ下地域は毎年恒例のこのお祭りで、とある有名な温泉の創設を記念します。1590年、一つの旗の下に天下を統一せんと、小田原の北条家を征伐すべく行った遠征の真っ只中、武将豊臣秀吉（1537年〜1598年）は迫り来る戦いに備えて箱根で軍を招集しました。戦が小康状態の間、豊臣は自軍のために近くの底倉に温泉の建設を命令。これは「太閤石風呂」（the lord’s rock bathの意）と呼ばれ、今もそのまま残っています。緑豊かな初夏、豊臣は将軍達と一緒に自身の功績を祝って豪華な宴会を開いたとも言われています。現代の太閤ひょうたん祭が通常宮ノ下富士屋ホテルの外で8月に開催される間、中世の宴が再現され、踊りや音楽のパフォーマンス、屋台飯、生ビール、そして夜を締めくくる花火大会が行われます。